

江の川流域水害対策計画の 実施に係る取組状況

令和8年2月26日



国土交通省

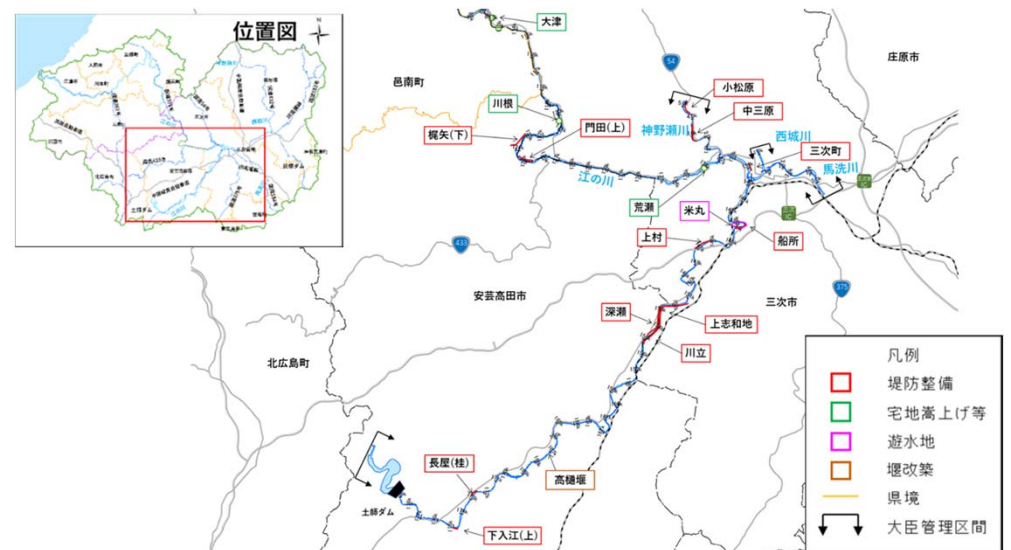
◆河川管理者(国土交通省)が行う河川の整備

令和6年度までの取組状況
米丸地区の遊水地箇所の用地買収、概略設計、船所地区・秋町地区の堤防整備
令和7年度取組状況
米丸地区の遊水地箇所の用地買収、概略設計、船所地区・秋町地区の堤防整備
令和8年度実施予定
米丸地区の遊水地箇所の基盤整備、用地買収、模型実験、堤防詳細設計、船所地区の樋門整備

河川整備計画に基づく広島県域での整備中及び今後予定の治水対策箇所

河川	地区名	区間	整備概要
江の川	米丸	142.4k付近～143.6k付近	遊水地
	船所	143.3k付近～143.9k付近	堤防整備
	上村	146.2k付近～177.1k付近	堤防整備
	秋町	150.1k付近～151.0k付近	堤防整備
	上志和地	151.2k付近～153.8k付近	堤防整備
	深瀬	152.7k付近～154.6k付近	堤防整備
	川立	153.8k付近～155.2k付近	堤防整備
	長屋(桂)	172.4k付近～172.8k付近	堤防整備
	下入江(上)	174.8k付近～175.0k付近	堤防整備
	上村、青河	146.0k付近～146.8k付近	樹木伐採、掘削
	秋町、片山	148.2k付近～149.8k付近	樹木伐採、掘削
	秋町、下志和地	150.4k付近～151.2k付近	掘削
	甲立、瀬戸	157.0k付近～158.4k付近	掘削
	篠原、高田原	159.4k付近～159.6k付近	掘削
	市ヶ原、法恩寺	160.8k付近～161.0k付近	樹木伐採、掘削
	市ヶ原、法恩寺	161.6k付近～161.8k付近	掘削
	市ヶ原、下小原	162.6k付近～163.4k付近	樹木伐採、掘削
	高屋、柳原	163.6k付近～164.0k付近	掘削
	内堀、国司	165.2k付近～168.4k付近	樹木伐採、掘削
	高樋堰	167.2k付近	堰改築
	常友、下入江	169.2k付近～170.2k付近	樹木伐採、掘削
	常友、下入江	172.4k付近	樹木伐採、掘削
	桂、下入江	173.8k付近～174.0k付近	掘削
	桂、下入江	174.4k付近	樹木伐採、掘削
	桂、下入江	175.4k付近～175.8k付近	掘削

- 効果的な河川整備(河道掘削、遊水地整備等)を着実に実施することで治水安全度の向上を加速化し、適切に維持管理を実施する。
- 河道掘削においては、河川環境への影響の回避・低減を図るとともに、遊水地整備においては、平常時は憩いの空間や多様な生物の生息・生育・繁殖環境としての湿地機能を有し、豪雨時には防災・減災に寄与する施設整備を検討する。
- 既存ダム(土師ダム)を洪水調節に最大限活用するため、事前放流により容量を確保し、ダム下流の浸水被害軽減に努める。
- 平成28年2月策定の江の川水系河川整備計画【国管理区間】から、追加もしくは変更となる整備内容について、河川整備計画を変更した。



◆河川管理者(国土交通省)が行う河川の整備

遊水地整備

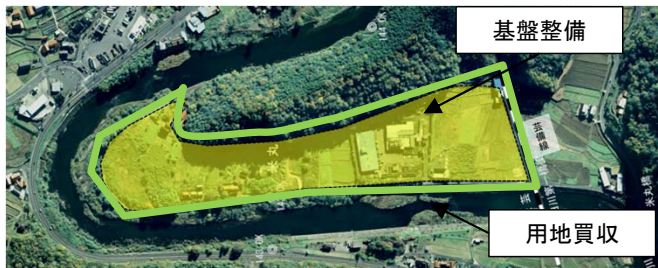


三次市米丸地区(江の川142.4k付近～143.6k付近)

R7年度の実施状況

- ・用地買収
- ・遊水地概略設計

R8年度の実施予定



- ・基盤整備
- ・用地買収
- ・遊水地模型実験
- ・堤防詳細設計

凡例
R8年度実施箇所:
R7年度実施箇所:

堤防整備



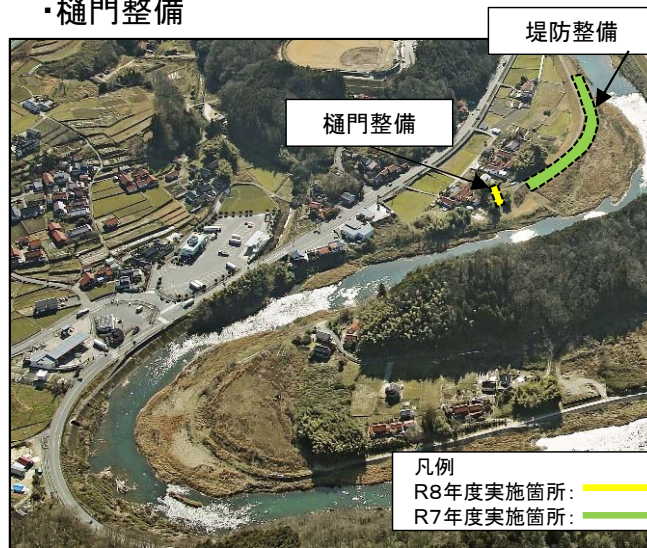
三次市船所地区(江の川143.3k付近～143.9k付近)

R7年度の実施状況

- ・堤防整備実施

R8年度の実施予定

- ・樋門整備



凡例
R8年度実施箇所:
R7年度実施箇所:

堤防整備



三次市秋町地区(江の川150.1k付近～151.0k付近)

R7年度の実施状況

- ・堤防整備実施



(R7.12.15撮影)

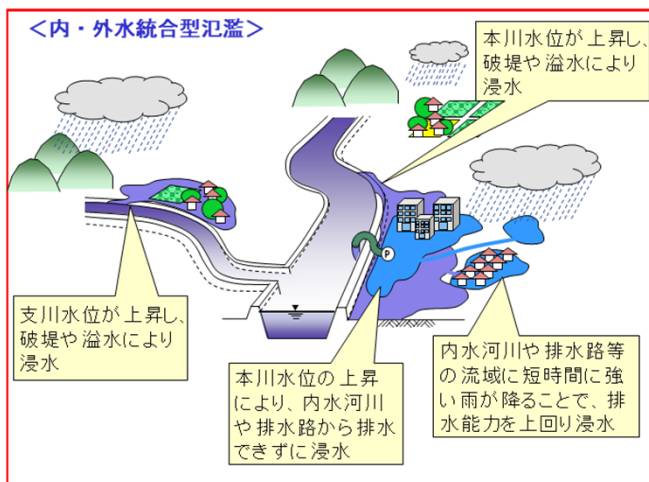
堤防・護岸整備工事(R7年度完成予定)

2-1. 内水位の被害想定・情報提供基準の検討

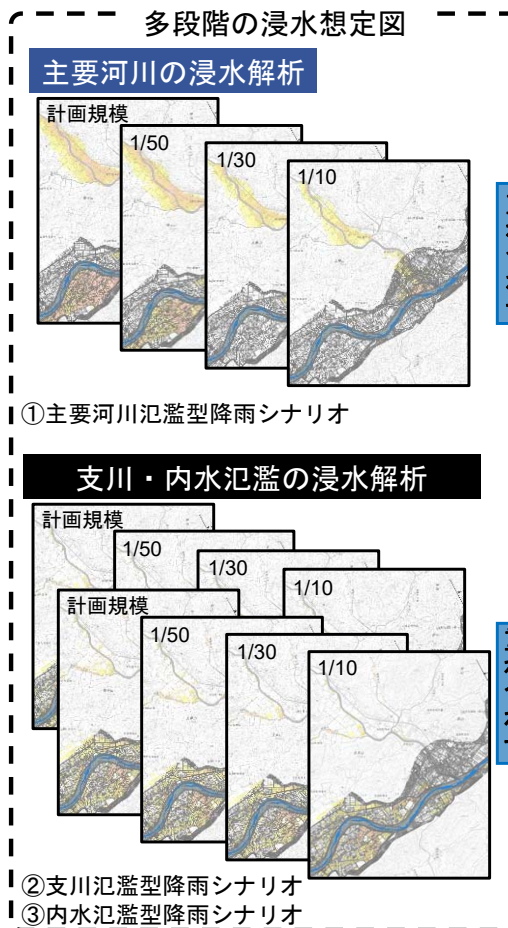
- 既に公表している外水リスクマップのほか、内外水統合型水害リスクマップを作成中。
対象地区38箇地区のうち、令和7年度に20地区を公表する。令和8年度に残地区(18地区)の検討を行い公表をする予定。

令和6年度までの取組状況
特定都市河川流域を含む江の川上流域の20地区で検討
令和7年度取組状況
特定都市河川流域を含む江の川上流域の20地区で図面作成、公表
令和8年度実施予定
特定都市河川流域を含む江の川上流域の残り18地区で検討、図面作成、公表

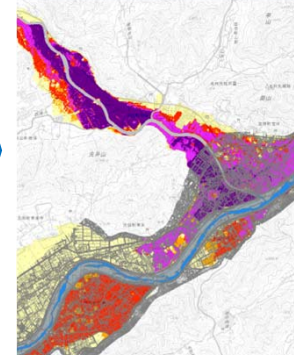
外水のみでは1/100以下で浸水してなかった地区においても、内水により高頻度(1/10等)で浸水する可能性があることなどが明確になる。



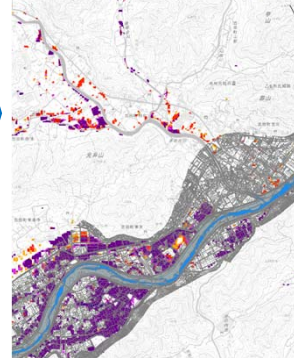
本支川・内外水統合型の
氾濫解析イメージ



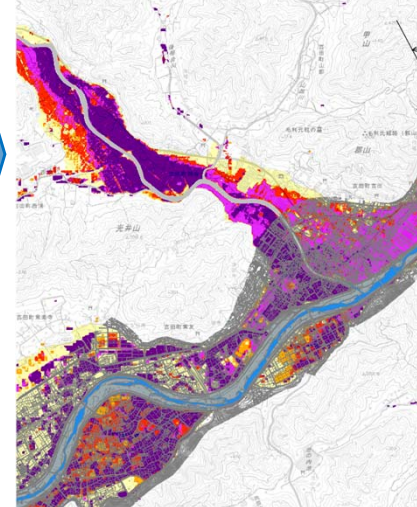
主要河川の
水害リスクマップ



支川・内水氾濫の
水害リスクマップ



内外水統合の
水害リスクマップ



13. ダムからの情報提供について、受け手の多様性に配慮した、

効率的な情報入手方法の周知手法の検討

■ 受け手の多様性に考慮した情報伝達（事前情報）として、点字パンフレットを作成し、令和7年12月から土師ダム管理所に各60部、設置・配布中。今後、自治体（安芸高田市）やサイクリングターミナルにも設置・配布の予定。

令和6年度までの取組状況
特になし
令和7年度取組状況
点字パンフレットの作成、土師ダム管理所に設置・配布中
令和8年度実施予定
今後は自治体等の施設に設置・配布予定

既存資料



事業概要（パンフレット）

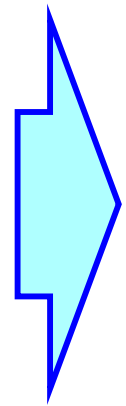
8. 洪水時のダム操作（緊急放流：異常洪水時防災操作） 4/4

緊急放流：異常洪水時防災操作

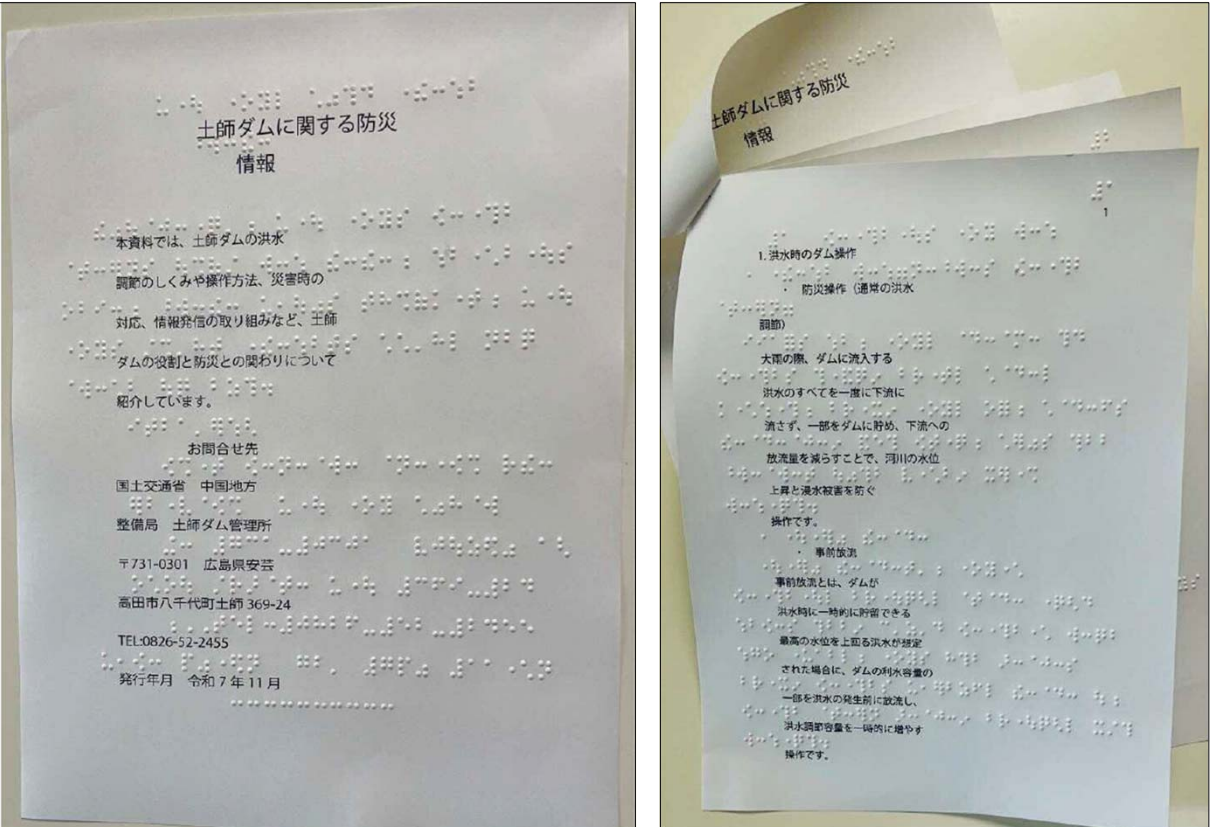
- ダムの計画規模を超える大きな出水により、ダムの洪水調節容量を使い切る（渾水になる）可能性が生じた場合に、**放流量を流入量と同じにする**ための操作を行う。
- 具体的には、貯水位があらかじめ設定した異常洪水時防災操作の開始水位に到達し、更に洪水時最高水位を超えると予測された場合に実施する。



防災操作説明資料



情報を抜粋し点字化



土師ダムに関する防災情報

本資料では、土師ダムの洪水調節のしくみや操作方法、災害時の対応、情報発信の取り組みなど、土師ダムの役割と防災との関わりについて紹介しています。

お問い合わせ先
国土交通省 中国地方整備局 土師ダム管理所
〒731-0301 広島県安芸高田市八千代町土師 369-24
TEL:0826-52-2455
発行年月 令和7年11月

1. 洪水時のダム操作
防災操作（通常の洪水調節）
大雨の際、ダムに流入する洪水のすべてを一層に下流に流さず、一部をダムに貯め、下流への放流量を減らすことで、河川の水位上昇と浸水被害を防ぐ操作です。

事前放流
事前放流とは、ダムが洪水時に一時的に貯留できる最高の水位を上回る洪水が想定された場合に、ダムの利水容量の一部を洪水の発生前に放流し、洪水調節容量を一時的に増やす操作です。

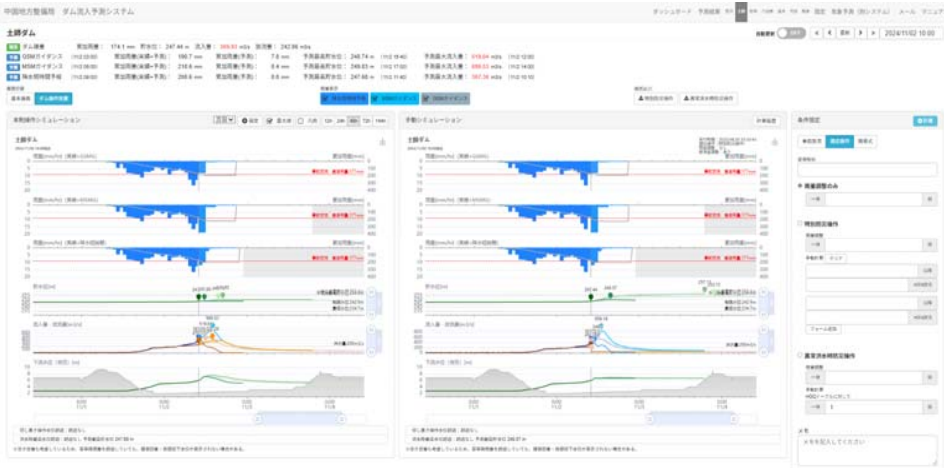
効率的な土師ダムの運用を実施

■ゲート有りダムにおいて、気象庁のシステム(最新のGSMとMSM)とAI学習機能を活用し、流入量予測および事前放流や特別防災操作、緊急放流操作のシミュレーションができるシステムを令和6年度に開発し、令和7年度から実装／活用している。今後は、低水および融雪出水に対応したシステムの開発／実装を予定。

令和6年度までの取組状況
システムの開発
令和7年度取組状況
システムの実装・活用
令和8年度以降実施予定
低水および融雪出水に対応したシステムの開発／実装

実施内容

- 流入量予測
- 事前放流支援 (シミュレーション)
- 特別防災操作支援 (シミュレーション)
- 緊急放流操作支援 (シミュレーション)
- メール通知
- 防災操作様式データ出力

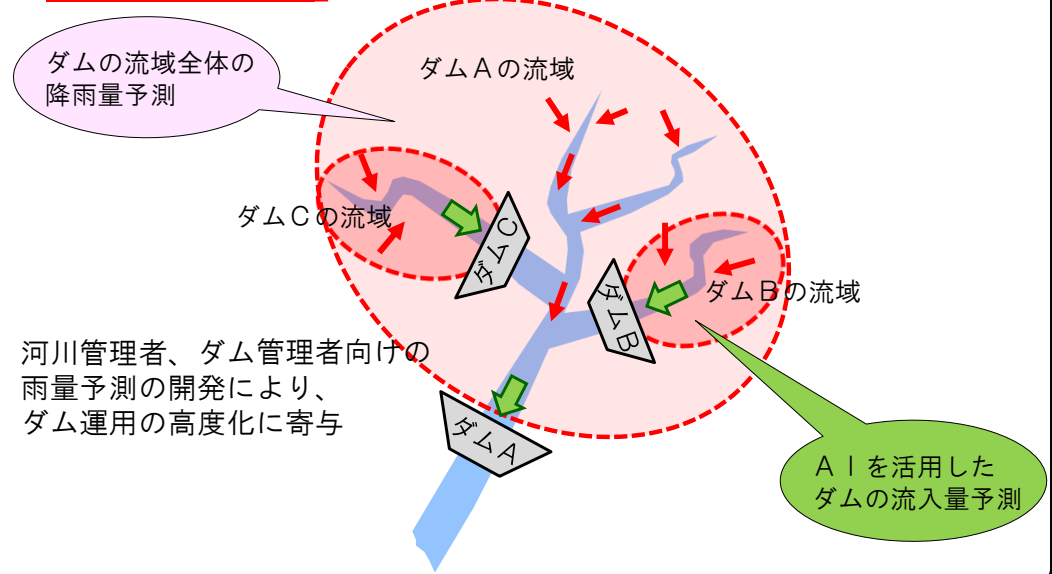


↑ 本則操作

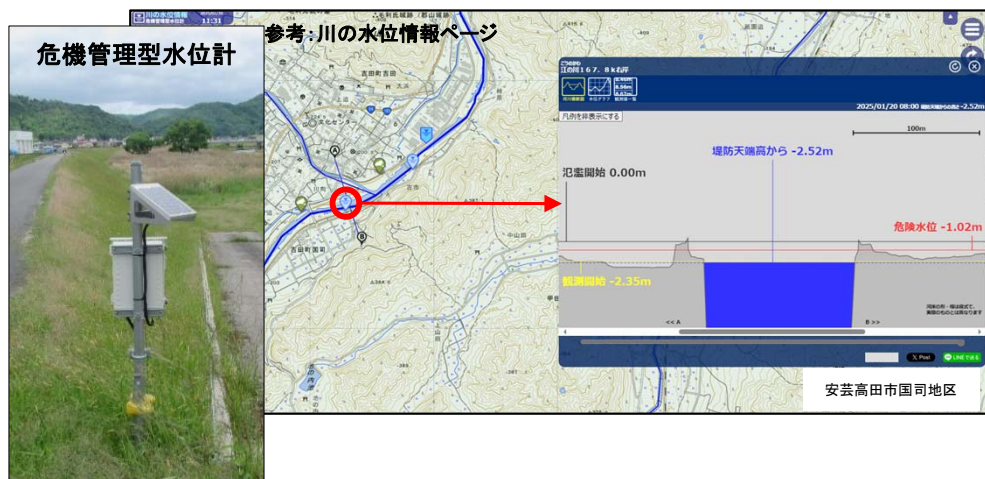
↑ シミュレーション結果

AIを活用したダムの流入量予測の活用

- 気象庁と連携し雨量予測の精度向上の取組と併せて、ダムの操作に必要なダムへの流入量を雨量予測結果からAIを活用して予測する取組を実施。
- 雨量・流入量予測の精度を向上することで、ダムの治水のための容量と利水(発電、農業用水等)のための容量をより柔軟に運用することが可能となり、**事前放流の更なる強化や水力発電増電を推進**する。



令和 6 年度までの取組状況
危機管理型水位計：特定都市河川流域の 3 5 箇所を設置 簡易型河川監視カメラ：特定都市河川流域の 2 0 箇所を設置
令和 7 年度取組状況
危機管理型水位計：特定都市河川流域の 7 箇所を更新
令和 8 年度実施予定
更新時期にきたものから順次更新



特定都市河川流域における
危機管理型水位計設置状況・更新予定（令和 8 年 1 月末時点）
設置計画 3 5 箇所のうち令和 6 年度までに 3 5 箇所にて設置
更新計画 1 4 箇所のうち令和 7 年度に 7 箇所更新

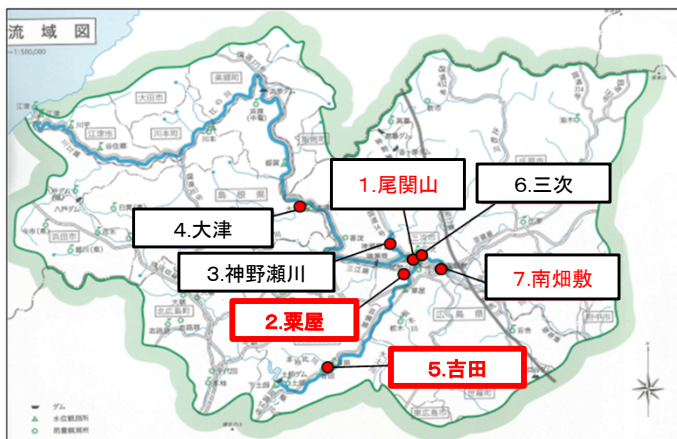
特定都市河川流域における
簡易型河川監視カメラ設置状況・更新予定（令和 8 年 1 月末時点）
設置計画 2 0 箇所のうち令和 6 年度までに 2 0 箇所にて設置
更新計画 4 箇所 令和 7 年度は更新は未実施



情報提供先：川の防災情報 <https://www.river.go.jp/>

- 従来の浮子による流量観測から画像解析による高度流量観測手法へと移行するため、江の川上流の7観測所（うち特定都市河川流域2箇所）に流量観測用カメラを設置した。
- 取得した映像データを用いて流量解析を行い、浮子流量観測との比較検証を実施した。
- 本省が主催する次世代流量観測検討会に観測結果の提出を行い、4箇所が非接触観測手法への移行が可能と判断されており、令和7年度から移行した。

令和7年度の流量観測カメラ設置箇所

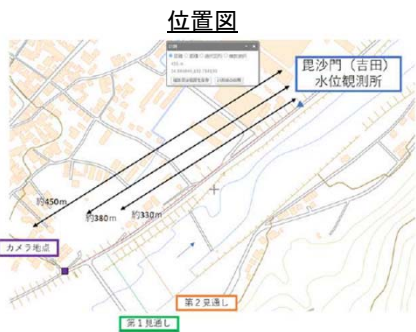


□ : 特定都市河川流域の設置箇所
赤字 : 非接触流量観測への移行が可能と判断された箇所

特定都市河川流域（吉田・粟屋）での設置状況

機器の設置状況

<吉田水位観測所>



画像解析の検査線



設定した検査線位置の表面流速を解析する

<粟屋水位観測所>



機器の設置状況



画像解析の検査線



令和6年度までの取組状況

7箇所中4箇所（うち特定都市河川流域2箇所）において、移行が可能と判断

令和7年度取組状況

4箇所において出水時での運用開始

令和8年度実施予定

残りの3箇所についても移行を行う

流量観測カメラ設置一覧

No.	地点（水位観測所）	河川名	距離
1	尾関山水位観測所	江の川	139.00km（河口から）
2	粟屋水位観測所	江の川	1.80km（合流点から）
3	神野瀬川水位観測所	神野瀬川	3.30km（合流点から）
4	大津水位観測所	江の川	86.50km（河口から）
5	吉田（毘沙門）水位観測所	江の川	167.0km（河口から）
6	三次水位観測所	西城川	1.00km（合流点から）
7	南畑敷水位観測所	馬洗川	5.00km（合流点から）

※赤枠は特定都市河川流域の観測所を示す

34. 防災施設の機能に関する情報の充実

■小中学校へ出前講座を実施。

令和7年度取組状況一覧	
R7.6.9	安芸高田市立甲田中学校
R7.6.27	三次市立川地小学校
R7.7.4	三次市立十日市小学校
R7.9.18	三次市立神杉小学校
R7.12.11	三次市立甲奴中学校

令和6年度までの取組状況
特定都市河川流域を含め、出前講座を6回実施
令和7年度取組状況
特定都市河川流域を含め、出前講座を5回実施
令和8年度実施予定
引き続き防災教育を実施

安芸高田市立甲田中学校 (R7.6月)

三次市立川地小学校 (R7.6月)

防災教育についての出前講座を実施。



江の川の環境、洪水に関する出前講座を実施。



三次市立神杉小学校 (R7.9月)

流域治水と土師ダムの役割についての
出前講座を実施。

模型による流域治水の説明



34. 防災施設の機能に関する情報の充実
土師ダムの役割について説明



放送メディアを活用した情報の伝達

■住民の方々へ防災情報をはじめとした身近で有益な情報を提供することを目的に、(株)三次ケーブルビジョン(ピオネット)と連携し、情報発信を実施。

R7.4月放送

R7.6月放送



既存の行事等への啓発の組込

土師ダム見学イベント (R7.10月開催)

流域治水の取組の紹介



八千代およりん祭(R7.11月開催)

流域治水の取組の紹介



令和6年度までの取組状況

既存の行事等における啓発や、ピオネットでの河川関係の広報を実施

令和7年度取組状況

既存の行事等における啓発や、ピオネットでの河川関係の広報、地域への出前講座などを実施

令和8年度実施予定

引き続き地域へ防災等の啓発を実施

令和7年度取組状況一覧

R7.4.16	「河川の異常を発見した場合」
R7.5.14	「河川水難事故防止」
R7.6.11	「河川防災に関する情報入手方法&江の川一斉清掃」
R7.6.11	生活訓練事業所これから
R7.7.9	「河川愛護月間絵手紙の募集」
R7.1.14	「河川内伐採木の無償配布」
R7.10.25	土師ダム見学イベント
R7.10.18	令和7年度広島県総合防災訓練
R7.11.9	八千代およりん祭

：既存の行事等における啓発

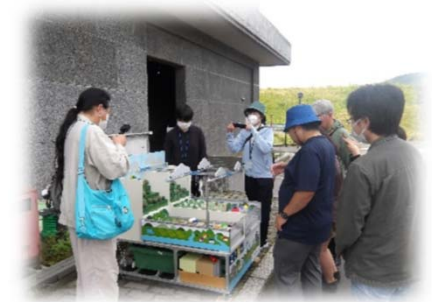
：ピオネットでの河川関係の広報

：地域への出前講座

地域へ出前講座の実施

流域治水の取組の紹介

生活訓練事業所これから (R7.6月)



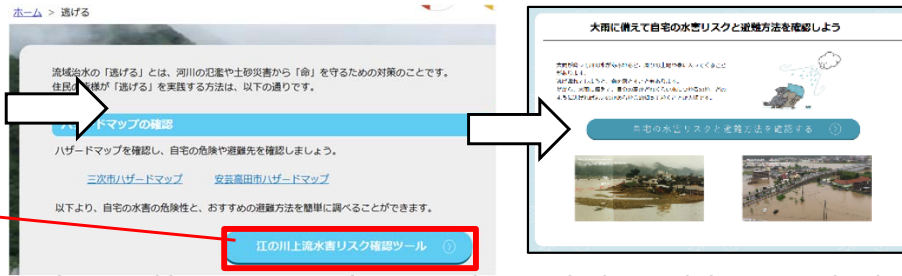
32-1. 住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及

■一般公開されている江の川流域のハザード情報を集約し、住民ひとりひとりの知りたいハザードを選択してリスクを診断できるツールを構築・公開。

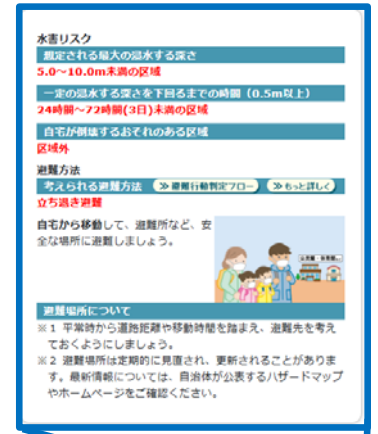
令和6年度までの取組状況
水害リスク診断ツールの構築
令和7年度取組状況
構築したツールの公表
令和8年度実施予定
引き続きツールの広報等、マイ・タイムラインの普及を推進

(1) アクセス方法

▶『やらにゃあいけん流域治水』サイトから
“逃げる”
をクリック



▶ <https://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/river/jibungotoka/>



(2) 操作方法

自分事化サイト トップ画面



ステップ①
建物構造と住居階数を選択



ステップ②
家の場所(地域)を選択



ステップ③
地点を選択し「確認する」をクリック



ステップ④
行動を確認し、マイ・タイムライン作成へ繋げる

▶ 三次市、安芸高田市及び県と国で作成されている情報から施設情報をもとにした。

施設情報	三次市	基幹避難所 補助避難所 広域避難場所	出典: 三次市地域防災計画
	安芸高田市	指定緊急避難場所	出典: 安芸高田市地域防災計画

ハザード情報	水害	想定最大浸水深	出典: 洪水浸水想定区域図
		浸水継続時間	
		家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)	出典: 家屋倒壊等氾濫想定区域図
	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)		
土砂災害	土砂災害警戒区域	出典: 警戒区域図	
	特別警戒区域		



広島県が行う河川の整備 ~江の川~

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策

第4章 特定都市河川の整備に関する事項

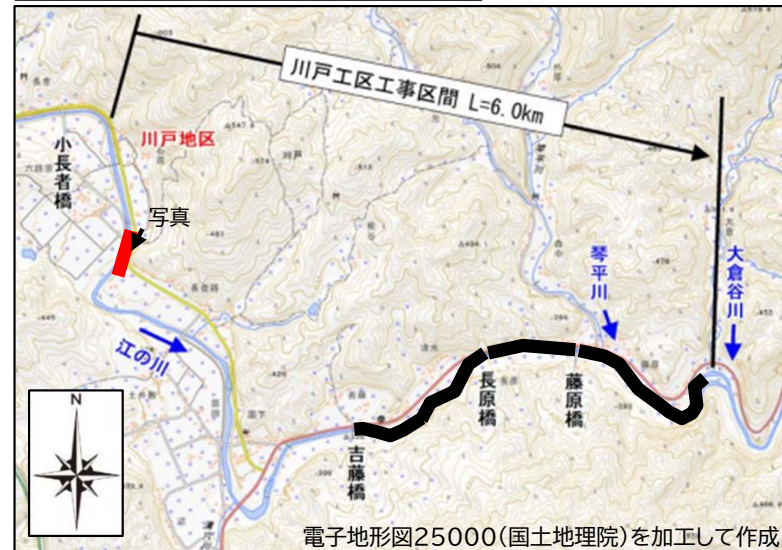
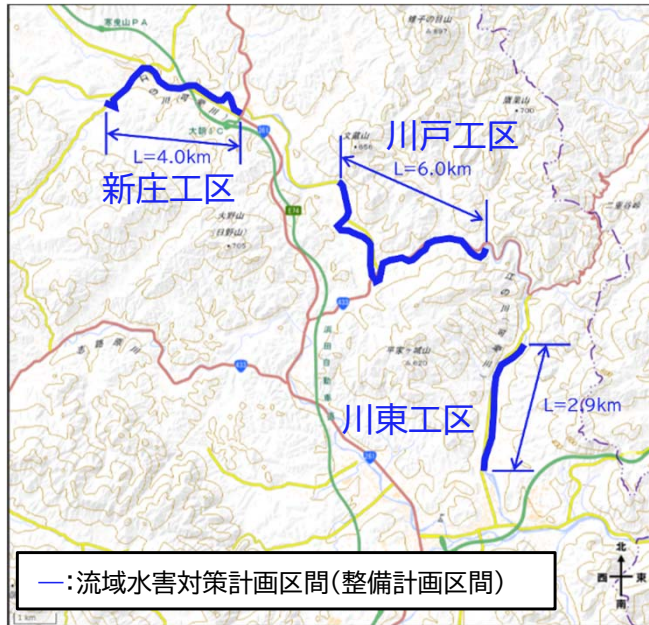
第1節

河川工事の目的、種類及び施行の場所

江の川本川においては川東大橋から上流2.9km、小長者橋から下流6.0km、新庄大橋下流から上流4.0kmの区間について、主に河道拡幅により必要な河積を確保するなどの河川改修を行い、北広島町壬生地区、川東地区、川西地区、川戸地区、新庄地区、大朝地区において、平成11年6月相当の洪水に対して集落地における家屋浸水被害の防止を図ります。

— : 工事実施済箇所
 — : R7年度整備箇所

▼R7年度整備箇所



具体的な内容

河道拡幅

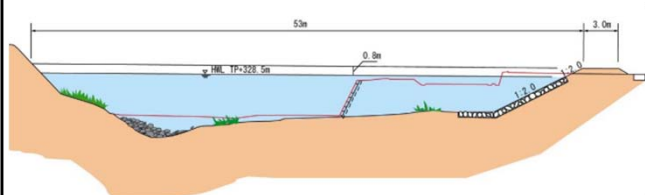
令和7年度取組状況

■ 工事
 設計、用地取得済み区間において、河道拡幅を実施中。現在は川戸工区において整備を実施中。

今後の予定

継続実施

整備イメージ横断面図

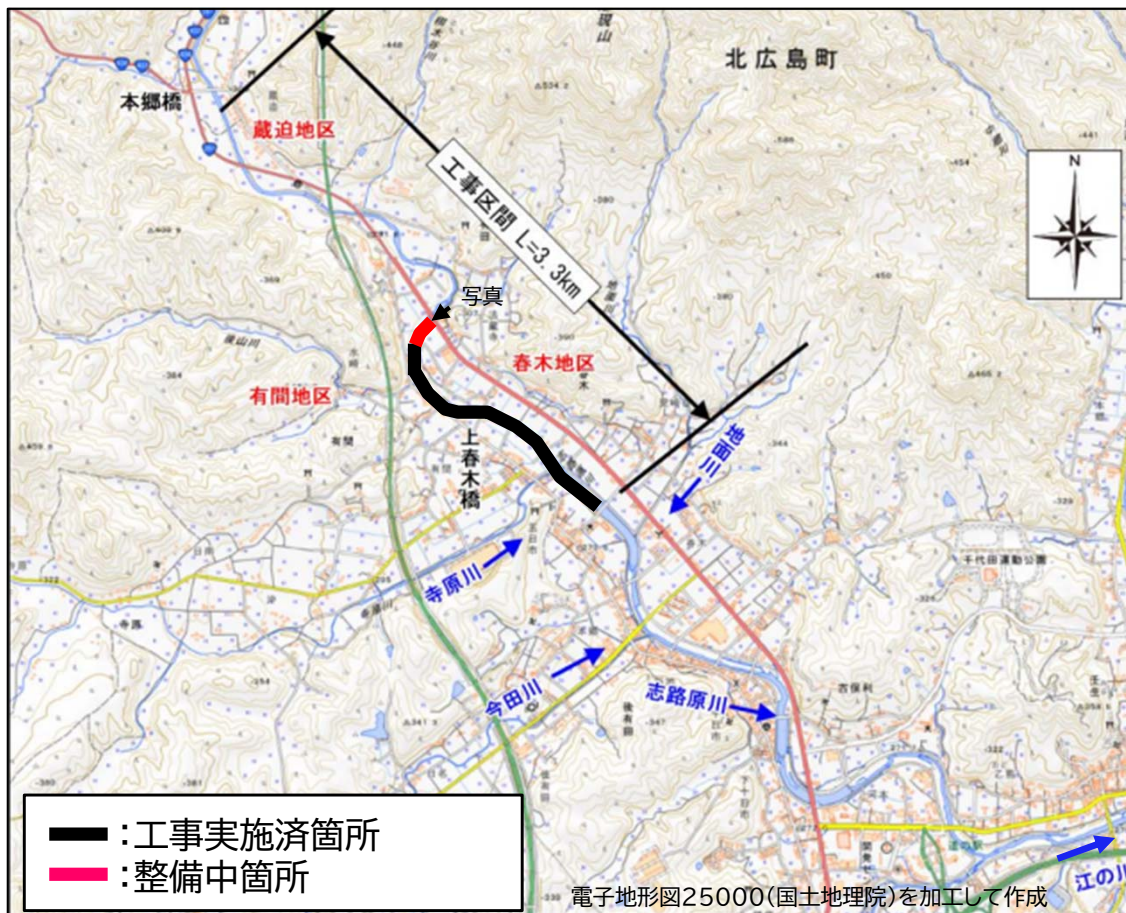


第4章 特定都市河川の整備に関する事項

第1節

河川工事の目的、種類及び施行の場所

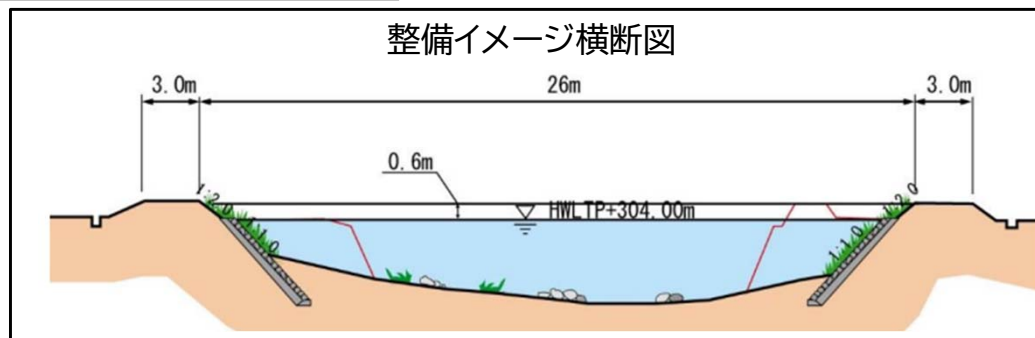
地面川合流点から上流 3.3km区間について、主に河道拡幅により必要な河積を確保するなどの河川改修を行い、北広島町有間地区、春木地区、蔵迫地区において、平成11年6月相当の洪水に対して集落地における家屋浸水被害の防止を図ります。



▼R7年度整備箇所



具体的な内容	
河道拡幅	
令和7年度取組状況	
■ 工事	設計、用地取得済み区間において、河道拡幅を実施中。
今後の予定	
継続実施	



広島県が行う河川の整備 ~多治比川~

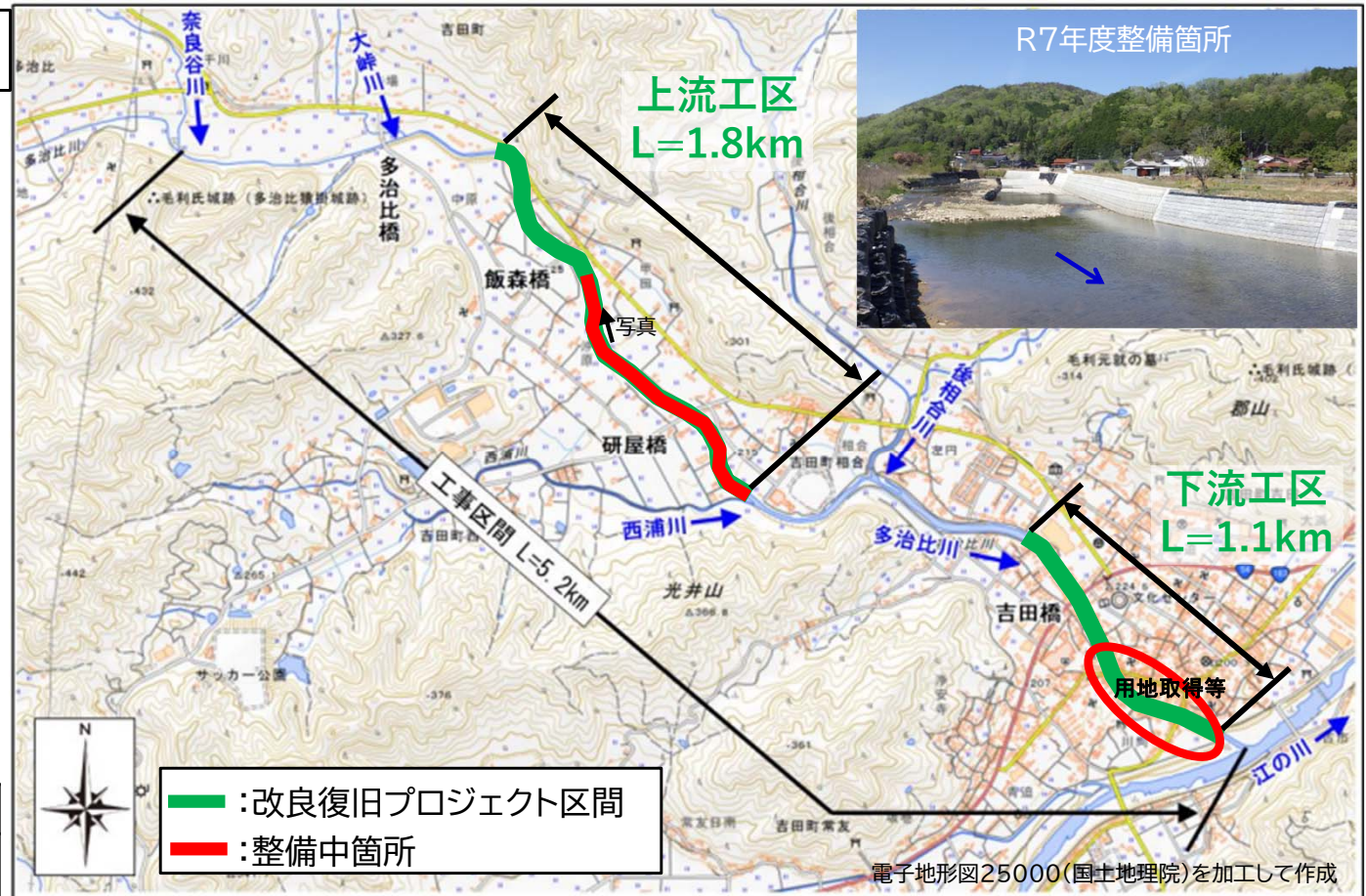
① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策

第4章 特定都市河川の整備に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所

江の川合流点から上流5.2km区間について、河道拡幅や堤防嵩上げ等により必要な河積を確保するなどの河川改修を行います。令和3年豪雨改良復旧プロジェクトにより、令和9年度までに、約2.9km区間において集中的に改修を行い、令和3年8月洪水に対して、浸水被害の防止を図ります。

—:流域水害対策計画区間(整備計画区間) L=5.2km
 —:改良復旧プロジェクト区間 L=2.9km



具体的な内容

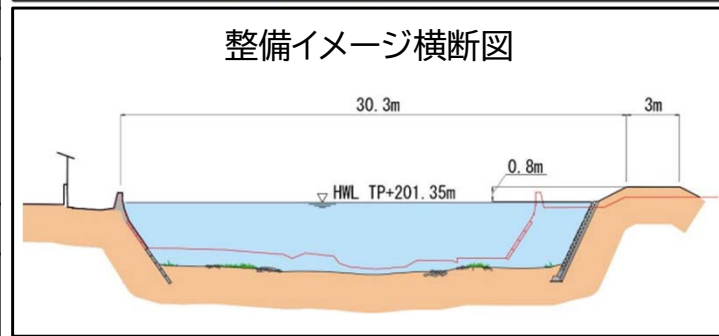
河道拡幅・堤防整備

令和7年度取組状況

- 用地測量・用地取得
用地取得を実施中
- 工事
護岸工事等を実施中

今後の予定

継続実施



改良復旧プロジェクト区間行程(L=2.9km)

工種	R4	R5	R6	R7	R8	R9
測量設計	[Progress bar from R4 to R7]					
用地補償	[Progress bar from R5 to R9]					
工事	[Progress bar from R5 to R9]					

17

20

- ・危機管理型水位計による洪水時の水位観測情報を配信し、円滑かつ迅速な避難を促す。
- ・河川監視カメラによる切迫性のある河川の状況を画像で配信することで、住民の適切な避難判断を促す。

危機管理型水位計

【設置例】



【観測情報公開例】



多治比川(安芸高田市吉田町)

設置箇所数(令和8年1月末時点)

広島県全域	112箇所
江の川上流域	11箇所

河川監視カメラ

【設置例】



【画像公開例】



冠川(山県郡北広島町本地)

設置箇所数(令和8年1月末時点)

広島県全域	180箇所
江の川上流域	10箇所

○ 「川の防災情報」にて公開 <https://www.river.go.jp/index>

30 小学校に対して「ひろしま防災出前講座」を毎年実施している。

一人ひとりが
自分の命を自分で守り抜く力を身につけ、
未来の防災リーダーとなるために。

- 近年多発する風水害から命を守るための意識を、児童に持ってほしい
- ひろしまマイ・タイムラインや土砂災害・洪水の基本知識を学ばせたい
- 学校で実施している防災教育にプラスして、外部講師による講義を受けたい
- 参観日や避難訓練に合わせて、講義を受けたい

今まで広島県が行ってきた、「ひろしまマイ・タイムライン出前講座」・「砂防出前講座」・「河川出前講座」が

「ひろしま防災出前講座」

NEW! として生まれ変わりました!
(リニューアルのポイント)

- 基礎編・応用編など、習熟度レベルに合わせた講座を選択可能!
- 人型ロボット「Pepper」くんと一緒にマイ・タイムラインを学ぶ講座を新設!
- 「体験学習型」などの選べるオプションメニューを充実し、多角的な視点から総合的に学べる講座に!
- 「キッズ防災士」の認定講座を設定!

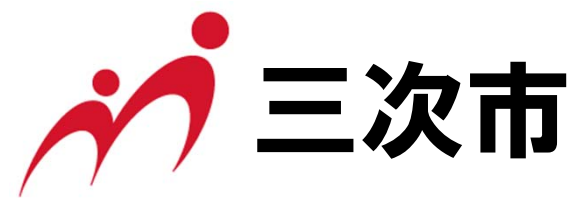
キッズ防災士認定講座

↓「キッズ防災士」の概要はこちら
https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/files/docs/topics_96cc22f19c3253b1ctfdb01cce8fe4a7_1.pdf



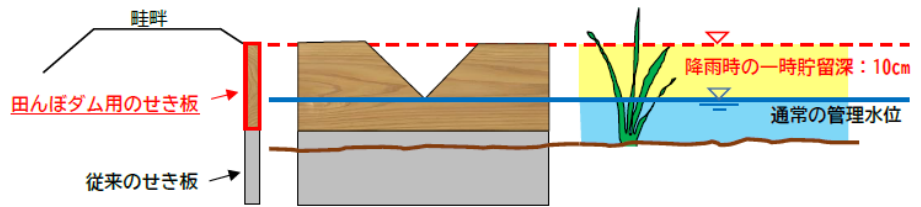
○令和7年度実施数

市 町	実施実校数	延べ受講人数
三次市	4校	136人
安芸高田市	4校	125人
北広島町	5校	183人
全県(参考)	127校	10,009人

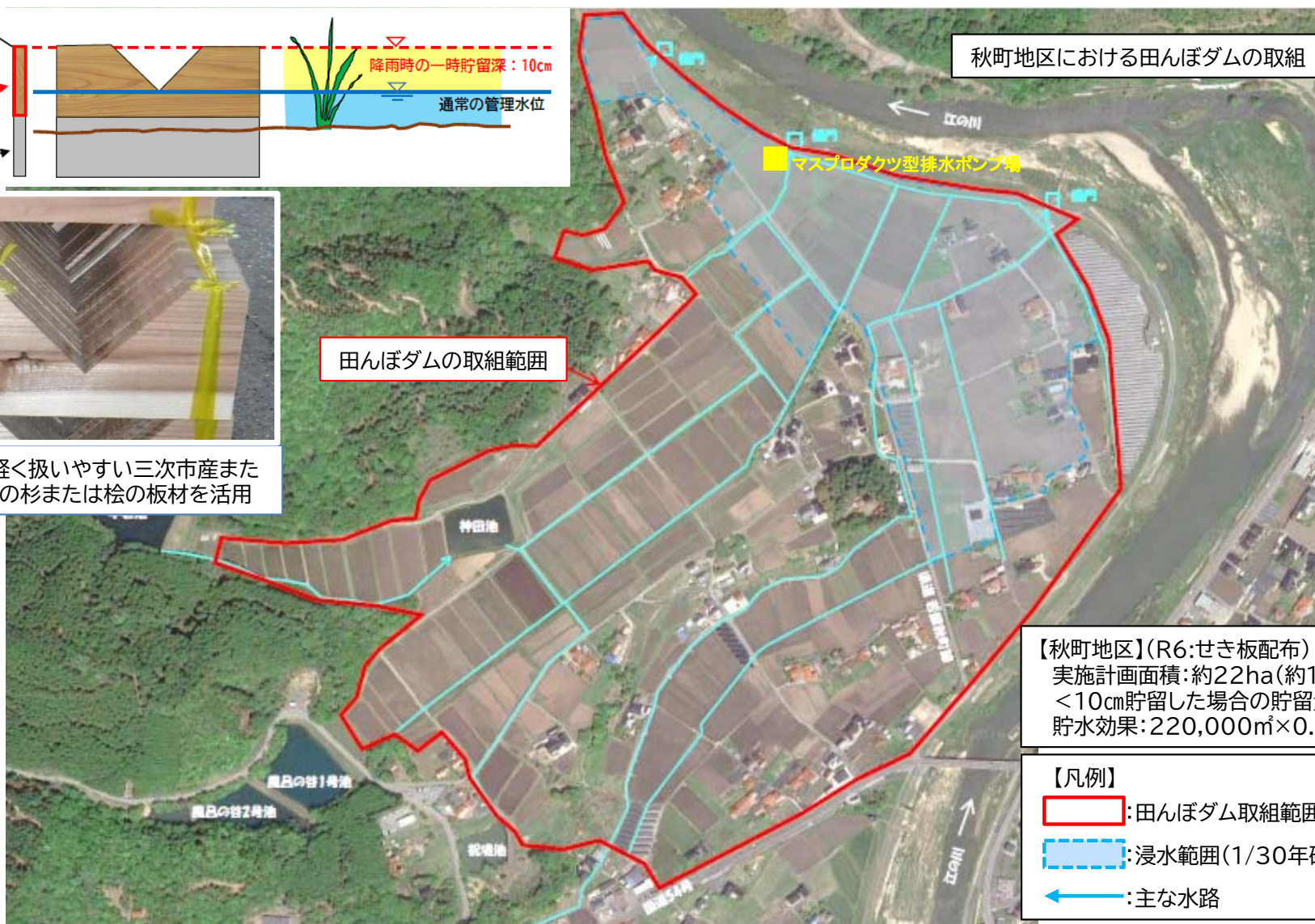


● 田んぼダムの取組

田んぼの排水口に田んぼダム用のせき板を設置することで、急激な降雨時に田んぼへ一時的に雨水を貯留し、下流の水路や河川の水位上昇を抑える取組を推進



せき板は、軽く扱いやすい三次市産または広島県産の杉または桧の板材を活用



【秋町地区】(R6:せき板配布)
 実施計画面積:約22ha(約18ha設置完了)
 <10cm貯留した場合の貯留量>
 貯水効果:220,000㎡×0.10m=2.2万㎡

【凡例】
 : 田んぼダム取組範囲
 : 浸水範囲(1/30年確率雨量)
← : 主な水路

【下志和地地区】(R7:地元説明・せき板配布予定)
 実施計画面積:約13ha(未設置)
 <10cm貯留した場合の貯留量>
 貯水効果:130,000㎡×0.10m=1.3万㎡

【上志和地地区】(R7:地元説明)
 実施計画面積:約56ha(未設置)
 <10cm貯留した場合の貯留量>
 貯水効果:560,000㎡×0.10m=5.6万㎡

【上川立地区】(R7:地元説明)
 実施計画面積:約53ha(未設置)
 <10cm貯留した場合の貯留量>
 貯水効果:530,000㎡×0.10m=5.3万㎡

● 各種訓練・防災教育・出前講座などの実施

■ 各種訓練の実施

国・県、自主防災組織や女性消防団等の関係機関と連携し、排水ポンプ車稼働訓練、大規模洪水想定訓練等を実施した。

【大規模洪水想定訓練】(28-2, 33-3)

実対応時の円滑な運用に繋げるため、避難情報の発令手順等の確認を行った。
要配慮者利用施設においては、避難確保計画に基づく訓練実施し、計画の実効性を確認した。

【排水ポンプ車合同訓練】(41)

国・県・市が所有する排水ポンプ車の稼働訓練及び連携訓練を実施し、実際の排水確認を実施した。

【避難所開設運営訓練】(2-5)

避難者の受入手順の確認、実対応訓練を実施した。

要配慮者利用施設の 避難確保計画	R6	R7
浸水想定区域内の 施設数	101	116
計画策定済施設数	97	94

■ 出前講座・防災教育の充実(27-2, 30-1)

防災士を講師に、教育課程に位置付けた体験活動教育事業(市内小学5年生を対象)を実施した。また、出前講座で要望のあった小中学校や地域講座等でマイ・タイムラインの普及と防災意識の向上に取り組んだ。

【地域】出前講座	R6	R7
実施回数	10	21



排水ポンプ車合同訓練



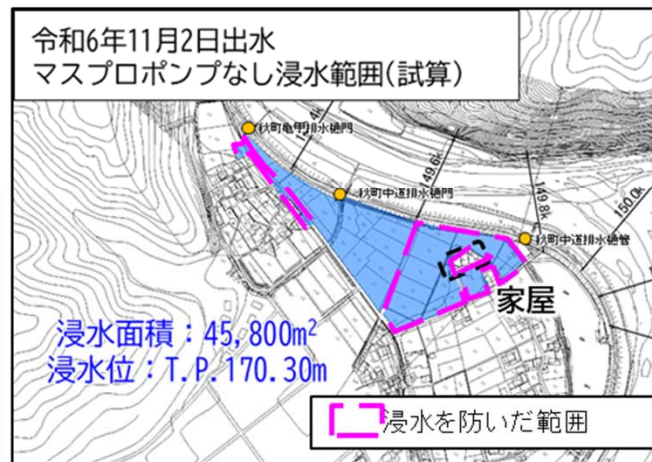
災害対策本部訓練



避難所開設運営訓練

■三次市秋町地区において、コスト縮減、故障時の復旧迅速化、メンテナンス性向上に対応したマスプロダクツ型排水ポンプの実証試験を令和6年度から開始。

■令和6年11月2日の出水時に初稼働し、家屋の浸水被害発生を防ぎ、一定の効果を発揮した。令和7年度は稼働実績なし。



浸水面積を減少させ、家屋の浸水被害発生を防いだ





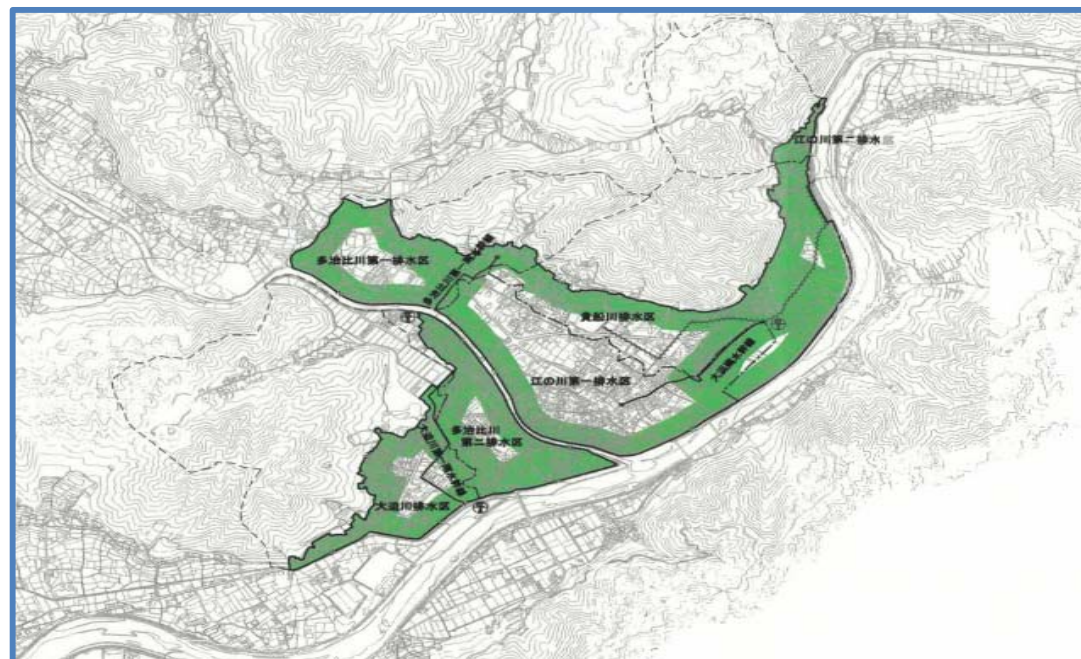
安芸高田市

■下水道による浸水対策を進めるため、雨水総合管理計画を策定する。

下水道管理者が行う特定都市下水道の整備に関する事項

- | | |
|------------|--------|
| 1 江の川第一排水区 | 52.1ha |
| 2 江の川第二排水区 | 2.6ha |
| 3 貴船川排水区 | 50.4ha |
| 4 多治比第一排水区 | 25.9ha |
| 5 多治比第二排水区 | 24.0ha |
| 6 大迫川排水区 | 22.2ha |

R5からR8で
「雨水総合管理計画」を策定



- 内水浸水被害の解消に向け、雨水貯留浸透施設を整備。
- 瀬戸、常友、国司地区へ計約79,000m³の雨水貯留により、内水による浸水深の低下、下流への流出抑制対策にも寄与することが期待される。

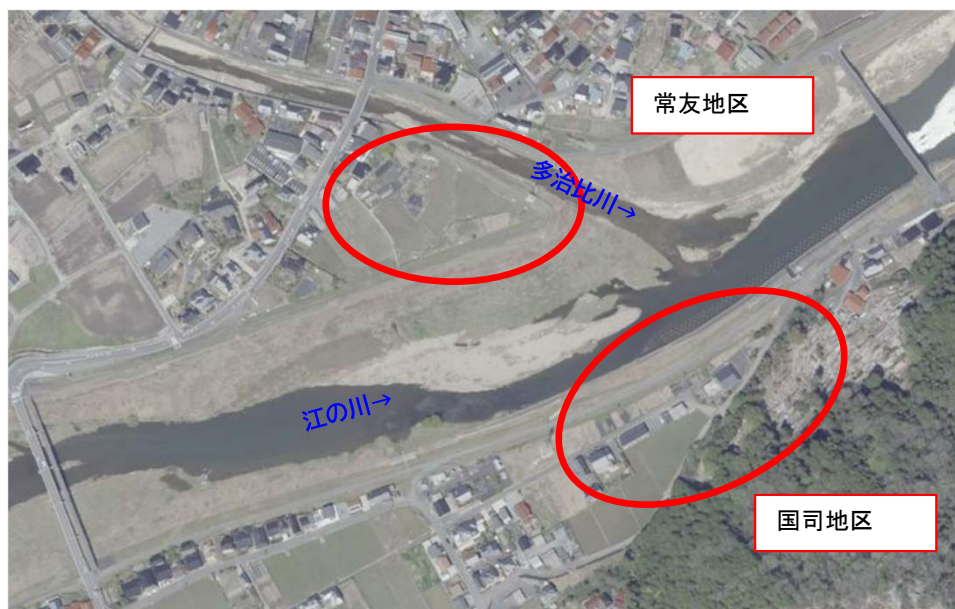
事業概要

総貯留容量:約7万9千m³

- 川向調整池(仮称)
貯留量 V=20,000m³
- 国司調整池(仮称)
貯留量 V=2,000m³

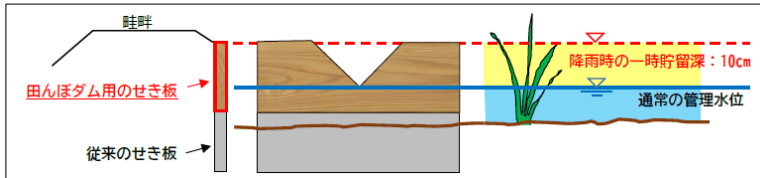
事業概要

- 瀬戸調整池(仮称)
貯留量 V=27,000m³



■田んぼの排水口に田んぼダム用のせき板を設置することで、急激な降雨時に田んぼへ一時的に雨水を貯留し、下流の水路や河川の水位上昇を抑える取組を推進

常友地区における田んぼダムの取組



田んぼダムの取組
取組面積: 約20ヘクタール
田んぼの枚数: 約160枚
<10cm貯留した場合の貯留量>
貯水効果: $200,000\text{m}^2 \times 0.10\text{m} = 2\text{万}\text{m}^3$

【凡例】
[Red box] : 田んぼダム取組範囲

32-2

- ▶ 2025年度において、22の自主防災組織等に対し防災講話等を実施。(2025年1月30日現在)
- ▶ 老人クラブ連合会、高等学校、中学校、民生委員児童委員協議会、児童クラブ、高齢者サロンに向けた活動も実施中。
- ▶ 2025年1月24日に市民全体を対象とした新しい防災気象情報を学ぶ「広島県防災啓発研修」を実施予定。

訓練名	主体	参加人数	内容
防災講話	小原地域振興会	30名	マイタイムラインの作成



訓練名	主体	参加人数	内容
避難所見学会	丹比地区自主防災会	16名	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅から避難場所までの危険個所の確認 ・避難所でのダンボールベッドなどの設営
防災学習会	大浜敬和会	30名	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅から避難場所までの危険個所の確認 ・避難所でのダンボールベッドなどの設営

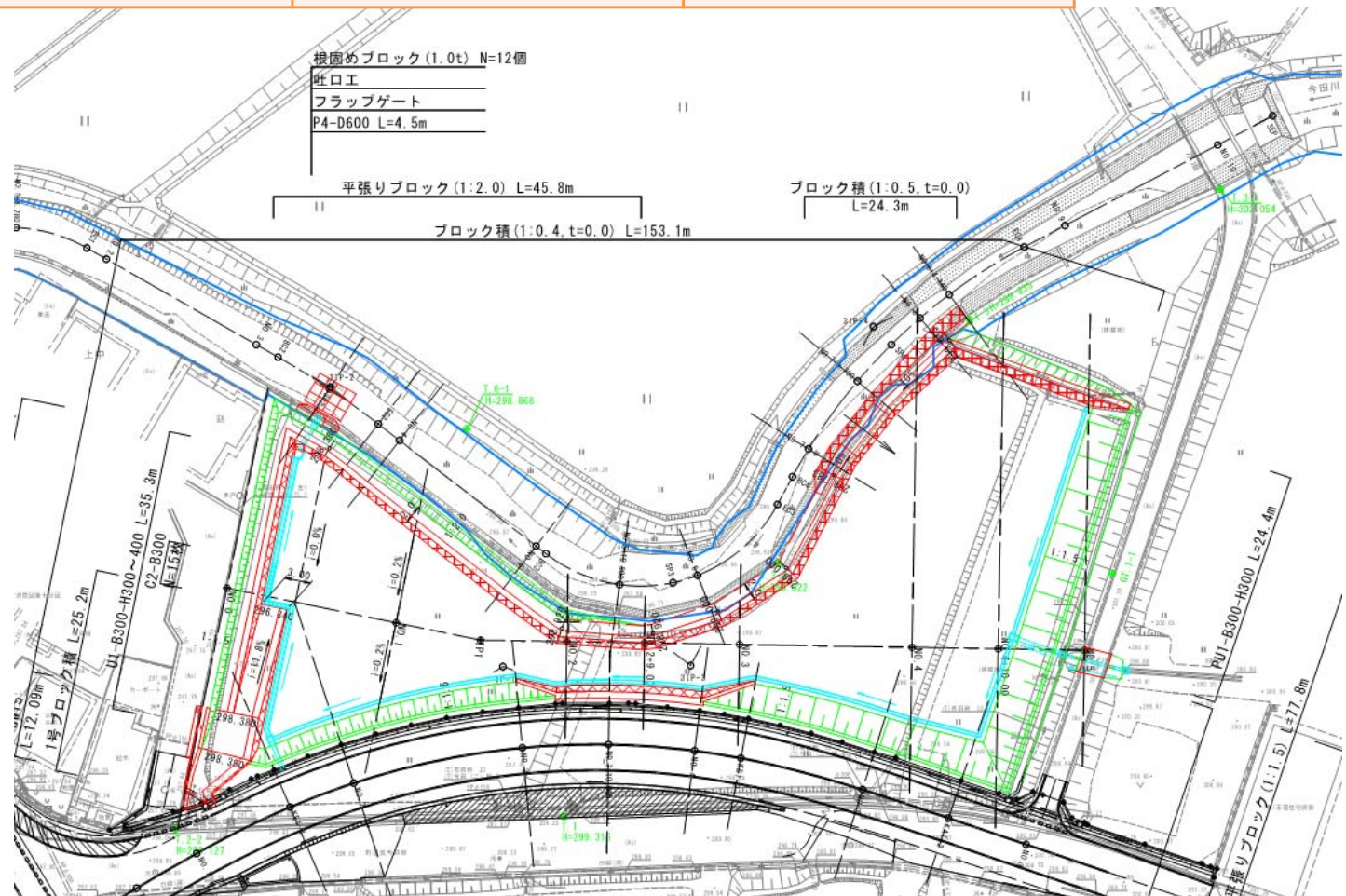




北広島町



	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
概略設計			
詳細設計			
用地取得			
整備工事			





- 自主防災会や小中学生を対象とした防災教育、消防団員等を対象とした水防訓練を実施している。

■自主防災会等の住民団体を対象とした防災教育の実施
 実施日:令和7年4月～11月の計20回
 実施内容:消防・防災について、防災の備え・近年の災害について等

4-3:避難経路の検討
 11:避難情報伝達手段の普及促進
 27-2:防災講習会の実施
 28-2:訓練実施
 33-3:避難訓練の実施



30-1:水害教育の実施

■小中学生を対象とした防災教育の実施
 実施日:令和7年6月19日 本地小学校
 実施内容:過去の被災に学ぶ防災教育、避難訓練等



24-3:現地点検の実施

■水防工法・実践工法訓練の実施
 実施日:令和7年6月15日
 実施内容:水防工法、土のうづくり、警戒訓練など



26:水防団との連携・教育

■消防団員及び町職員を対象とした 重機操作研修等
 実施日:令和7年11月23日 午前、午後の計2回
 実施内容:災害時を想定した重機操作(掘削、積み込み、解体)

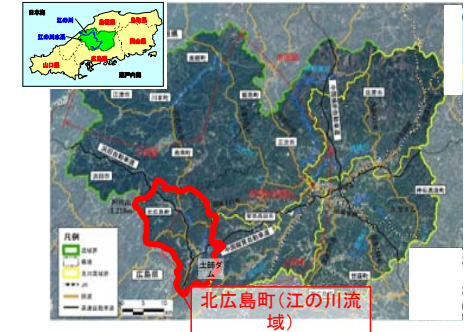


流域治水協議会

○防災教育の推進及び防災情報の効果的な発信・活用 ○水防活動の効率化及び水防体制の強化



- 北広島町では、町面積の約80%を山林が占める特徴を活かして『せどやま再生事業』に取り組んでいる。
- この取り組みにより、木材資源の循環や地域経済の活性化に寄与することに加え、森林の整備・保全による水源涵養によって江の川流域の水害の防止、軽減に繋がり、流域全体の治水対策に貢献している。



治水対策への貢献

林家さんが里山の保全に取り組むことで

- ・水源涵養の機能が強化
- ・雨水浸透・保水力が強化
- ・**雨水の流出抑制につながる**

江の川上流域に位置する北広島町で、森林の整備・保全によって「雨水の流出抑制」が期待されることで、**中・下流域の水害の防止、軽減につながる**

多面的機能の発揮



- Ecology 効果**
- 水源の涵養
 - 獣害の抑止
 - 景観の保全

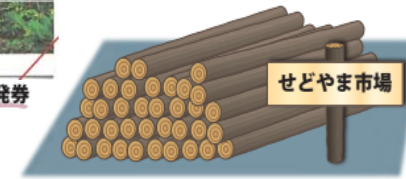
木材資源の循環

・木材を生活に必要なエネルギー資源として活用し(ストーブ用の薪、ボイラー用の原木)、木材の生産～流通を促進



発券

出荷



薪供給

薪

支払



Energy 効果

- 再生エネルギー
- 温暖化防止



Economy 効果

- 地域経済の活性化



過疎地の再生

商品



地域経済の活性化

- ・林家さんは、木材を提供し町内のお店で使用できる引換券(せどやま券)がもらえる
- ・お店側は、せどやま券を現金に交換

せどやま再生事業の概念イメージ

※背戸山(せどやま)とは、家の裏手にある山をさす用語